

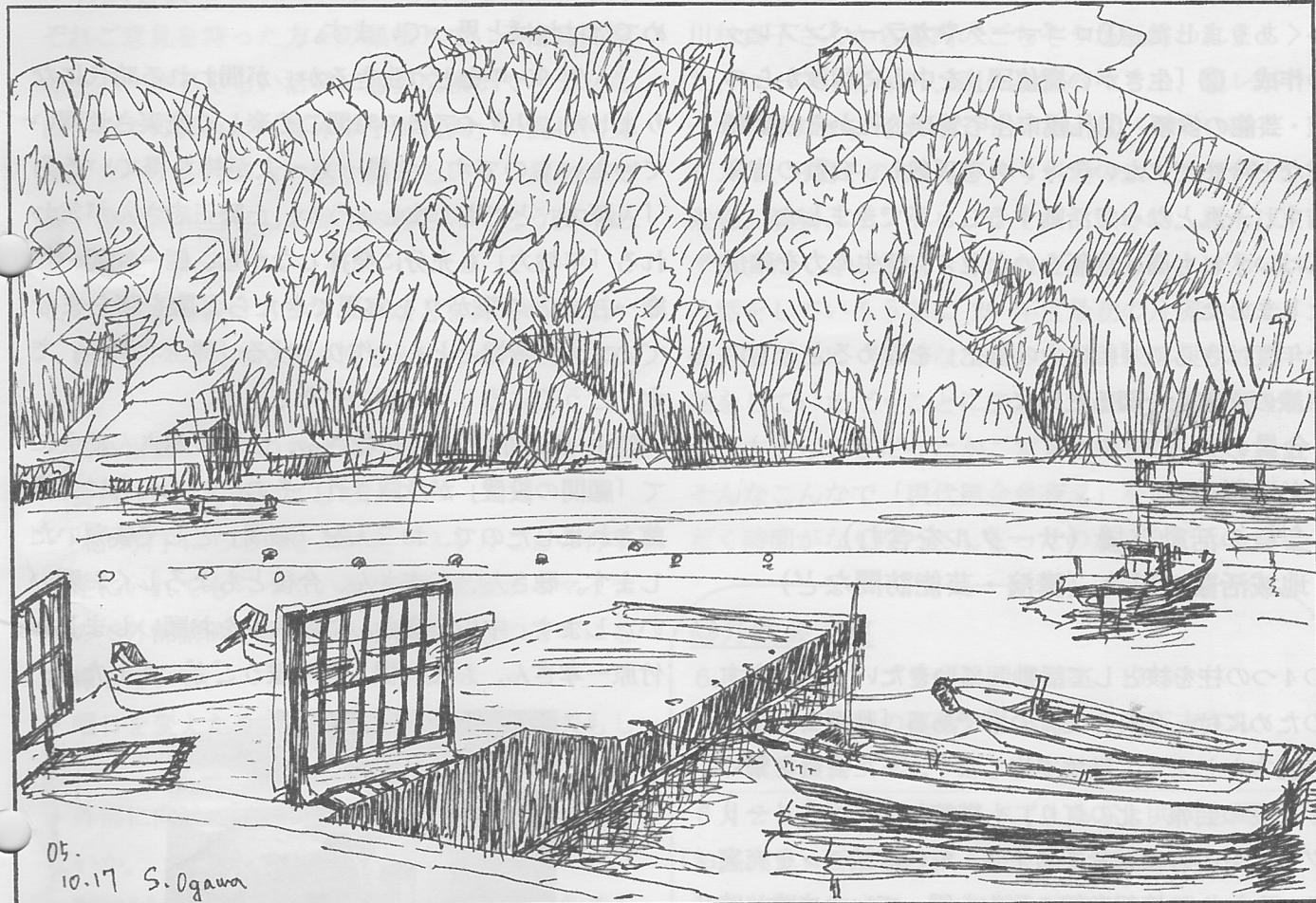
第 66 号

健康生きがいづくり
アドバイザー
北海道協議会

発行責任者

石川義勝

題字 会員 塚本久二子（札幌市）



《美しき入江（忍路港）》 小川 智（白日会準会員・道展会友）

健康・いきがい

『お節介が自分役割かな』

39期 恵庭市 大嶋 昭子

昨年3月に、日本カーリンコン協会のインストラクターの認定書を頂き、当市でも広めようと思っておりますが、練習日と趣味の教室が重なっており、参加できず残念に思っているところです。

以前に近況報告をさせて頂きましたスポーツ推進委員、母子寡婦会などの活動は今も変わっていません。

その後、平成24年4月から、老人障害者の会での

スカットボール(軽スポーツ)月1回1時間と一緒に楽しんでいます。昨年12月より、10キロマラソンに挑戦する視覚障害者女性と月1回、総体で共に歩いたり走ったりしています。その女性は、他のボランティアの方と週3~4回練習しているとのことです。

入院中の母の食事介護等は、1日3時間から30分~1時間の見守りだけとなりました。

私自身、今年で最後の60歳代となりました。しかしながら、挑戦したいことがまだ沢山ありますので、ボケないよう、楽しい日々を過ごすことを念頭に、頑張り過ぎないように頑張ろうと思っています。

「平成26年度の活動に向けて」

代表 渡邊一栄

去る5月10日の定期総会にて会員の皆様の承認をいただき、平成26年度の活動が始まりました。

私が代表となりまして1年が過ぎました。皆様の温かいご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

昨年は、「組織力の強化」を目指し、初めての試みが多くありました。①ロゴマークやカラーパンフレットの作成 ②「生きがい探偵団」を中心に行政からの講演・芸能の依頼 ③札幌市住宅管理公社からの委託事業など今までにないチャンスを頂戴し、会員の皆様が結束し一丸となって活動することができました。②③はいずれも高い評価をいただき、健生の力を確信いたしました。

今年度はさらに「組織力の強化」を進めるとともに「組織の充実」を図るために

1. 会員のスキルアップ
2. 交流親睦
3. 会員の活動支援（サークルを含む）
4. 地域活動の拡充（講演・芸能訪問など）

この4つの柱を核として活動していきたいと思います。そのためには、会員の交流の場である「月例会」を活動の基本としまして継続実施します。また会員を繋ぐパイプ役の会報「北の灯り」も継続して発行。メーリングリストへの参加者を増やし、ホームページを充実することにより情報発信の強化を図っていきます。時代のニーズに合わせ情報の共有のためにシニア世代の食育・料理体験や介護予防の啓蒙に取り組みたいと思います。養成講座につきましては、4日間の「短期集中型」にスタイルを変え、二次研修は宿泊研修とします。

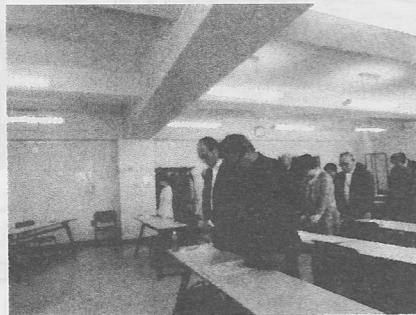
毎年参加して好評の「エルプラまつり」（エルプラザ開催）への参加と、まだ仮称ですが、「文化祭・作品展」を開催することにより、会員の発表の機会を作るとともに社会への周知をしたいと思います。地方で活動されている会員の皆様も多くいますので、今まで以上に交流を活発化させていきたいと思っています。

また退会されたADの方々が再入会していただけるように各種イベントにお誘いしたいと思います。

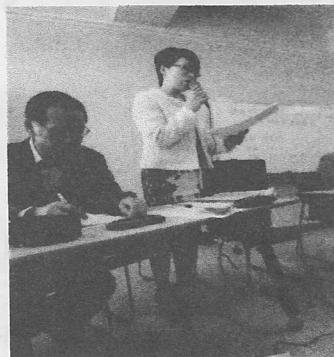
昨年度の委託事業のように企画・運営を引き受け活動の拡充を図ります。「生きがい就労」に取り組みたいと考えていますが、私達には何ができるのか・・・皆様の豊穣な人生経験を生かして、健生ADとして可能な分野での活動で社会貢献できるように準備を進めて行ければと思っています。

「人生90年をどう生きるか」が問われる時代になりました。リタイア後の時間こそ楽しく充実させ輝いていきたいものです。会員一人一人が持ち得ている力「人間力」とでもしましょうか、上野正志さんが言われる「年輪力」も充分に發揮しながら、個→仲間→組織→社会との繋がりを実現できたらと胸を膨らませています。皆様とともに作り上げる「健生北海道」です。どうぞよろしくお願ひいたします。

健生AD顧問に長谷川聰さん、上野正志さん総会にて「顧問の設置」が承認され、その後の役員会にて推薦されましたので、お二人を「顧問」として委嘱いたします。聰さん、正志さん、今後ともよろしくお願ひいたします。中川和彦さんに副代表をお願いしました。竹原一孝さん、お疲れ様、有り難うございました。



故寺井友一さまのご冥福をお祈りし全員で黙祷。



渡邊代表挨拶「新年度の方針」を力強く発表

月例会報告

企画部長 北山公子

「平成25年度月例会の反省と懇親会」

3月15日（土）市民活動プラザ星園 会議室

★反省会は12人と少ない人数でしたが、それぞれご意見を持った方々の集まりで、予定時間をお一回するくらい活発に意見交換ができました。はじめての試みの「夏休み子供企画」の異世代交流、ガーナ在住の方の話を聞くという「異文化交流」は企画担当として健生の皆さんにどう受け止められたか。

この月例会を続けるかどうかなどを持ちかけた。

- ・月例会は会員の交流を図るものなので続けてほしい。

- ・これまでいいのではないか。

- ・会員のみの月例会にしては？

- ・「北の灯」にちらしを入れたり3ヶ月ごとの行事予定にいれてもらっているが参加者数がイマイチなので外部講師をお願いする時は一般の方々にも広報している。

- ・曜日を変えたり、時間帯を変えたりの工夫もした。

- ・外部に向けてイベントの展開するいい機会ではないか。

- ・“学びたい” “教えたい” のマッチングがあるといい。そのためには会員がどんなスキルを持っているか把握する必要がある。

- ・なかなか会員個人の情報を得られないのが難点。

- ・毎月は大変だから2ヶ月に1回とかにしては？
(現状は年8回)

- ・年間スケジュールがあると参加するかどうか決めやすい。

- ・少しでも安い会場確保のために決められない場合がある。

・みんなが日頃培っているものを発表する機会があればいい。
などなど書ききれないほど！ ということで26年度も月例会は開催します。参加してくださいね。

★懇親会は「持ち寄りパーティ」。お約束通り川村貞子さんから鹿肉のごちそうが振舞われました。ローストディア、鹿の心臓のマリネ、鹿レバーの香味炒め。どれもくせがなく食べやすい事！ ザンギ、お菓子のほか、手作り料理の山でサラダ、煮物、漬物、サンドイッチそれに飲み物。話もはずみ、たくさん美味しいいただきました。いろいろ話をしているうちに26年度最初の月例会は上野正志さんに「野のなななのか」の映画製作の裏話をしていただくことに決定。上野さんも映画を観た方からどうだったかご意見を聞きたいそうな。そんなこんなで「現代風金色夜叉」を演じていただく時間がなくなってしまったのが残念でした。

◎月例会予定

6月7日（土）プラザ星園会議室 13:30～

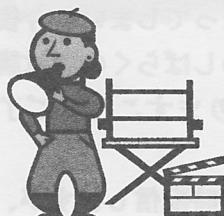
「聞かせて映画の裏話」 お話 上野正志さん

参加無料

6月29日（日）アウトドア・らぶと共同企画

「お庭拝見」西区宮の沢4条5丁目10-7 中川和彦邸を訪問します。おにぎり持参で12:00からのバーベキューに間に合うように集まりましょう。

参加費 500円



「今春のたまてばこの活動報告」

★3月25日(火)牛乳パックと和紙で作る小物入れ

佐藤良子さんは一枚の牛乳パックを組み立ててかわいいバスケットを教えて下さいました。和紙の柄によって個性あふれる作品が仕上りました。

大西信子さんが教えて下さったのは16枚の千代紙を折った小物入れ。角をきちんと合わせて折らないときれいな形に仕上りません。洗濯ばさみを使って固定しながら四苦八苦しました。組み合わせるのもコツがいり、脳の活性化につながったかも?

★4月20日(火) 5月節句の壁飾り

前年度好評の壁飾りのパターンを変えて、大西さんが講師を務めました。男童子を和紙で折って色紙に貼りました。ちょっとした一工夫できれいに仕上げるのは、さすが大西さん! 色紙から少しほみ出して鯉のぼりを貼り、作品に動きを感じられました。

★5月15日(木) 円山公園散策

さわやかな天候の中、地下鉄駅から動物園までの道のりを一巡りました。桜が少々残っていて、様々な種類のチューリップが満開でした。

花と鳥の声とおしゃべりを楽しみながらのんびり散策。もちろん神宮も参拝して、境内にある六花亭の茶屋で「判官様」を食べて一服。

ランチは円山クラスの福亭です。ビールを飲もう! とAさんの主導で乾杯! 和食で煮物や刺身に混じって初めてみる食材もあり、目で見て楽しめる献立でした。食後のコーヒーを飲んで、満足して帰路につきました。

◎星園プラザの交流室は、火曜日に星園カフェの開催を始めました。そのため、「たまてばこ」は火曜日に決めていましたが他と重なってしまい、今後、曜日の再検討をします。そのためしばらくの間は講師の都合で予定を立てることとなりますことをご了承下さい。

パソコンの健生メールで随時配信しますが、興味ある方は松浦まで連絡下さい。

これからも楽しい企画を考えたいと思いますので、ご協力お願いします。

(76期) 松浦まどか 記



新入会員紹介の紹介

「私」

札幌市 94期(一生会) 木田達子

絶対見逃したくないテレビドラマ最終回の結末の場面で、箸を持ったまま眠ってしまい気付くと次の番組が始まっていた。このところ2時間サスペンスドラマは録画をして導入部分を見てから、早送りして最終部分で犯人を確認している。歳を重ねて気力や体力が落ちていくということはこういうことなの?と思っていた。

そんなこともあってかどうなのか、なぜかテレビの指向はドラマから歴史検証モノへと変わった。歴史の結末はわかっているので、眠ってしまっても何だか諦めがつく。昨年、10月30日放映されたNHK歴史秘話ヒストリアでは、クラーク博士が取り上げられていた。

異国の若者の教育に情熱をかけたクラーク博士が日本を去る際に残したあまりにも有名な「少年よ、大志を抱け」というこの言葉に続きがあつたという。「少年よ、大志を抱け」それに続く言葉は「この老人のごとく」。

挑戦することの大切さを自分の姿を見て学んでほしいということだとテレビの解説は続いた。様々な活動で知り合った諸先輩に接していて、その行動や言葉の重みに深く感じ入ることがある。それは単に歳を重ねただけではなく、まさに「この老人のごとく」という姿勢が発するものに他ならないと思える。時間は無情に過ぎていく。目が覚めたら番組が終わっていたように、気付くと(気付かない?)私の人生が終わっているということが起りうるし、自分が誰かさえ分からなくなるかもしれない。

歳を重ねる事は簡単であり、そしてとてつもなく難しい代物のようだ。私の時間の中に昨年登場した「健生」という場ではどのような時を過ごすのだろうか。早送りできるならば結末を知りたくもあり、またその経過を楽しみたくもありというところかもしれない。

近況報告

「お釜でごはんを炊いてみました」

南幌町 37期 大栗洋子

かの震災後防災意識の高まりで、一昨年から私の住んでいる地区でも防災グッズの展示や防災ディグなどが行われていました。そこで話題になったのが、ライフラインが寸断された時、「2日間ぐらいは自分たちで何とかしなきゃならないね」という話です。

電気もガスもなくなったら、「薪でご飯をたくことになるね」「でも急に炊けるかね?」という話から「そうだかまどでご飯を炊く練習をしよう」ということになりました。

たまたま年に一度、住んでいる町内会で3世代交流会を行っていて、豚汁を作ったり焼きとりを焼いたりしていましたが、そこで練習することになりました。

この時代なので、薪ストーブもお釜も集まるかと心配しましたが、そこは古くからの町内会・・・「昔おもちをついていた時使っていた」という何人かが現れ、ようやく準備完了。事前にお手伝いの人を呼びかけると、「災害の時に困るものね」ということで4~5人が賛同してくれ、真夏の暑い日に新たな挑戦が始まりました。

素人が多い中、お釜を載せる勢いで薪をたくまでにかかりました。

お年寄りも参加してくれたため、直接お釜を載せては後で取れなくなるから薄いフックをかませるようにとの教えや、昔から「はじめチョロチョロ、中パッパ、赤子泣いても蓋とるな」という言葉もあるよなどさすがという言葉も出て、やはり三人よれば文殊の知恵といいますが、ほんとに一人では何もできないことも多勢集まると何とかなるものですね。結局、2升炊きと3升炊きのお釜で香ばしいご飯が炊きあがりました。

それを交流会に来ていた年寄りから子供までがおにぎりにしたのですが、最後にお釜についたお焦げが出てくると、特にお年寄りは「懐かしいわー」「これがおいしいんだよね」と奪い合いになってしまった程でした。おにぎりの評判は上々でもう少し食べたいという話まで飛び出す始末。

そしてうちに4升炊きの釜があるから使ってという話にまでなりました。練習とまではいきませんでしたが、結局世代間の交流が深まったことは事実で、顔見知りが増え、災害時に“文殊の知恵”を出し合えたらいいなと思いました。たぶん今年もやってみることになると思います。



近況報告

「ご無沙汰いたしております」

札幌市 18期 菅原民江

アドバイザーの資格を取得し早18年目、随分若かりし日だったと思います。

健康生きがいづくりアドバイザー北海道協議会の設立など、懐かしく思い出します。

この間、遠のいておりました健生メンバーの方々とお会いする機会も増え、これから自分の生き方を考えるきっかけになっております。

私は7年前33年間勤務してきました西友を辞め、(株)ナリヤへ転職致しました。

現在、執行役員として社員教育兼営業管理全般を担当しております。

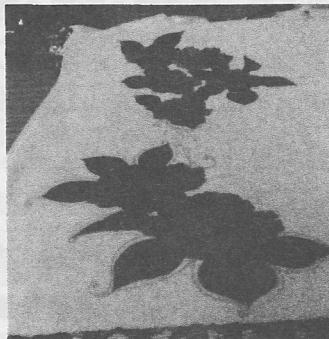
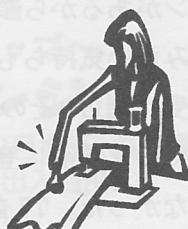
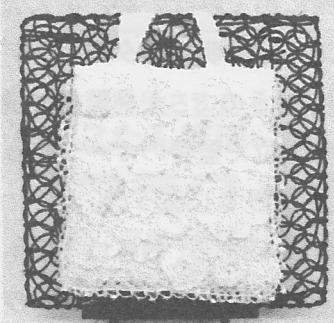
仕事面では、西友時代に培ったノウハウを生かし大幅な業務の改革・改善を図ることが出来たと思っております。

手芸の専門店にいるのだからと、いろいろチャレンジするうち、この手芸関連は私に向いている!!と確信するようになりました。

洋服に絵を描くファブリックステンシルでは講師資格を取得しカナリヤで教えております。

また、編み物・刺しゅう・クラフトと分野は広がり、もっと沢山のものを身につけたいと思うようになっています。

地域との関わり方など、皆さんの経験とお知恵をお借りしながら・・・この分野で65歳から楽しくやっていこうか、と考えるようになってきました。どうぞ宜しくお願い致します。



近況報告

「77歳の喜寿で初の映画出演」

札幌市 通信14期 上野正志

演劇・映画の仕込は HTB で業務・仕事としていた。それらを観る立場では「札幌演劇鑑賞協会」の副理事長として係わってきた。また、支える立場としては「北海道演劇財団」設立時のチャターメンバーとして最近まで評議員を務めていた。演じる立場立場としては「健康生きがいづくりアドバイザーハンズ」の素人芸能集団『生きがい探偵団』に所属し、福祉施設などへ訪問活動をおこなっている。主な役柄は「名月赤城山」では、国定忠治の一の子分・定八役、「白髪五人衆」では弁天小僧菊之助役、「金色夜叉」では、弁士役と言うところ。

2013年6月、大林宣彦監督は自身が校長を務める「星のふる里芦別映画学校」の20周年を記念して、芦別市を舞台にした古里映画「野のなななのか」という映画を製作し、2014年5月に全国で公開されている。「なななのか」とは仏教の「四十九日」の意味)

物語は、元病院長が92歳で亡くなったのをきっかけに普段は離れて暮らしている家族が芦別に集まり、國や故郷・家族の生き方・絆・幸せについて考え、樺太や北海道の敗戦後史にも光を当て、現代の日本人の心に迫り、明日の真の平和を手操りよせようとするもの。2013年の4月某日夜、北海道演劇財団の専務理事から私の携帯に電話、「大林宣彦監督の映画に出てみないか、主人公の元院長の友人役に推薦しておいた。明日の夕方オーデションがあるから顔を出せ」と言うので、大林監督に逢ってみたい気持ちもあり、興味本位で監督のオーデションを受けたら、その老人役に決まってしまった。お寺の本堂での4場面に登場、台詞も4回ある。NGは一回も出さなかった。77歳にして、朝4時に起きて、ドーランを塗られ、羽織袴の和服の喪服を着せられ、「待つ事は役者の仕事のうち」と言われながら、活気溢れる映画製作現場の渦中で貴重な体験をさせて貰った。全く世の中、何が起るかわからない。これからも、次に何が起るか楽しみにしていたい。

主な出演者：品川徹 村田雄浩 常盤貴子 松重豊

左時枝 伊藤孝雄 安達祐実

(地元の役者)：滝沢修 木村修 斎藤和子

近況報告

「新しい住みか」

札幌市 12期 長谷川竹二郎

昨年9月、私が満85歳、家内が80歳になったのを機会に、最近流行?となってきている“サービス付き高齢者向け住宅”に移り住んだ。住宅名は徳州苑しろいしという。収容定員は75名ですが現在64名が住んでいる。年齢は65歳以上である。内訳は夫婦者8組16名、単身者48名(男10名、女38名)です。住み始めて約半年が経ったばかりなので、まだ結論が云えないが、私の住心地感想は“極楽” “極楽”と云ったところだ。

家内に云わせれば、結婚以来50年以上、三度三度の食事づくりから解放されてホットしたと云っている。ところで私の方だが、約20年前の平成7年7月に健康生きがいづくりアドバイザーとして資格を取得し、かつ学び実践してきた事を体現する場でありチャンスと考え、ワクワク、ドキドキしている今日この頃です。

生活を共にする高齢者仲間が、嬉しい～楽しい～ありがたい～と思い云い合える事が最も大切なことではなかろうかと考え実践している。

それは、挨拶言葉の最初の文字を綴った「オハヨウゴザイマス」「スキデス」「シツレイシマシタ」という挨拶を自分自心に行い、他人にもするという事です。これらのこととは私が15歳のとき志願して海軍予科練習生に入隊し、特別任務をおび106名の内82名が戦死、九死に一生を得た私が笑えないPTSDにかかり、それを浴すために実践した心理療法でもあります。

難しい事はさて置き、明るい笑顔と声で実践しています。これは年寄でも若い人でもできることです。

私は心の“極楽”づくりを同居者と共に実践し、かつ実現しようと頑張っています。



★★★役員会・運営委員会からのお知らせとお願ひ★★★

1. 健生北海道総会について

- ・5月10日プラザ星園にて平成26年度定期総会ならびに懇親会を開催致しました。
- ・今年度は役員改選時ではありませんが引き続き代表に渡邊一栄氏、副代表に石川義勝氏。
なお、副代表竹原一孝氏の辞任に伴い、中川和彦氏が新しく副代表に選出され就任しました。

2. 今期・健生アドバイザー養成講座について

- ・今年度の養成講座は7月13・19・20日・8月3日の4日間で、短期集中とし、札幌市内全10区の区民センターや郊外の公共施設等に募集チラシを配布して受講生を募集中！！！。

★みなさまにお願い! 開催案内チラシを事務所に常時置きますので、必要枚数をとり配布にご協力お願いいたします。

3. 本年度月例会について

- ・月例会は、6月7日よりスタートします。1回目の月例会には、芦別を舞台にした映画「野のなななか」に出演した上野正志さんを交えて製作の裏話や映画を観ての感想を語り合います。
- ・続いて、介護予防に役立つ「共想法」をシリーズ化して学びます。ぜひ参加してください。

*詳しくは同封のチラシ、日程表をご覧下さい。

4. エルプラザ祭について

- ・本年度もエルプラザ祭に参加します。6月から参加募集が始まるため、発表したいことやご意見などアイディアがありましたら、申し出ください

情報BOX



★会員のみなさまのさまざまな活動を紹介するコーナーです。
イベント案内・仲間募集・地域サロン紹介・ボランティアで手伝って・・広告宣伝など、互いに交換し応援しあいましょう。
情報おまちしています。FAX 011(826)3974(斎藤)

★大橋真樹さんからのご案内

名張独歩どう酒事件 映画「約束」～死刑囚の生涯～

- 日時：6月1日から8日（日）毎日4回上映
- 場所：札幌東宝プラザ（狸小路6丁目）
- 料金：前売り券900円 当日1000円
- 内容：袴田事件の再審の道がひらかれましたが、さらに長い冤罪の死刑囚がいます。名張事件の奥西勝さんです。今私たちに裁判と死刑制度が問われています。作品では役者もノンフィクションを演じるという役者魂をかけています。仲代達矢も樹木希林も山本太郎も。ああ無情！レミゼラブル、あなたもジャンバルジャンに！

★松田順治さんからのご案内

笑いヨガ みんなで笑って楽しく健康！

- 日時：毎月第2第4木曜18時半～20時
- 場所：中ノ島まちづくりセンター
(豊平区中ノ島1条4丁目9-4)
- 内容：笑いとヨガの呼吸法を組み合わせた健康体操（動きやすい服装と飲み物持参ください）
- 参加費：500円（会場費・通信費）
- 連絡先：「札幌笑いヨガクラブ」（松田）
FAX821-9812 ☎090-3770-2191
E-mail juntoyohira@ezweb.ne.jp

★うさPさいとうさんよりのご案内

ゆのん地域寄席 *ゆつたりのんびり* 笑いコミュニケーション

- 日時：6月15日（日）13時半～15時
- 場所：民家茶屋ゆのん（中央区南14西12西向）
- 出演：うり坊・ほっぺ・トンカチ・うさぴょん
- 参加費：無料&笑顔
- 問合せ：☎090-3898-4696（うさP斎藤）

★堤秀子さんからのご案内

ぽこたんぽぽ～ワークショップ～

「フラワーアレンジ」

- 日時：7月15日・9月16日・12月16日の火曜
いずれも13時半～16時（時間内出入自由）
お一人60分ほどのフリーレッスン
- フラワーアレンジ講師：香織（かおり）さん
(色彩講座講師ほか、カウンセラーとしてご活躍)
お菓子担当*85期 堤秀子
- 会場：中央区北6条西20丁目2-24
- 募集：5名（先着順・作品を持ち帰る袋御用意下さい）
- 参加費：2500円 ペア割り 4200円
(花材・お茶菓子・会場費・諸経費税込み)
- 内容：花育としても注目されているフラワーアレンジ。季節の生花を思い思いに仕上げます。ちょっとしたコツを覚えて切り花をステキに変身させ、ワークのあとはお茶で寛いで活き活き健康に！
- 申し込み：4日前までに☎090-3234-9565
E-mail pokotanpopo2000414@yahoo.co.jp

財団からのお知らせ

(財) 健生・生きがい開発財団 藤村 宣之

健康生きがいづくりアドバイザーとして認定された方は今年の3月末で5,296名。先月、アドバイザーの皆様にアンケートを出しました。

820を超えるご回答を頂いております。北海道からも30通近く届きました。アンケート結果は、アドバイザーの資格取得時から、その後の活動の様子まで、たくさんの情報が詰まった大変貴重なデータです。この膨大な情報をどう活用するか、今頭を捻っています。

今年はアドバイザーに関するさまざまな事業を徹底的に推し進めようと【AD拡大推進会議】を立ち上げました。特にアドバイザー拡大に狙いを定め、リーフレットや本、DVDなどのツールを作成中です。東京で11月に開催予定の全国大会の際に、ご披露できると思います。

「ハイ、タッチ」



『連携について』

第94期 一生会 桜 忠夫

囲碁では、「一間トビに悪手なし」「逃げるは一間」という格言があります。

陣取りゲームで、石を「ツナグ」ことで、より効率よく活用することを言っております。

最近、新聞では、例えば、「環太平洋連携協定(TPP)」「国と出先機関との連携」「ソニー販促で部門連携」「旭川大、三浦綾子文学館と連携」など、「連携」という言葉が毎日目に付きます。

それぞれの組織が、他の組織と連携しながら、経済社会で活動の効率を求めていると思われます。

健生北海道は、セカンドライフの生きがい・やりがい探しで、さまざまな組織・団体と連携し、社会とのかかわりを大切にしている長寿社会の応援コンサルタントでしょう。

多くの組織・団体や市との連携が欠かせないとすれば、健康生きがいづくりアドバイザーが社会で認知されるとともに、健生北海道が、法的にも行為能力が認められるよう、法人格取得がベターだと思われるのですが。

次号は一生会 信太さんにハイタッチ。

表紙に寄せて

美しき入江(忍路港)

小川 智

小樽市のほぼ西端に位置する忍路港は、三方を山に囲まれた小さな漁港で、どんな方向から風が吹いても時化ることのない天然の良好です。

若き頃釣りに凝っていた私は、祝津やオタモイが荒れていても、ここは大丈夫と知っていたので、バイクをかつ飛ばして出かけたものです。

釣り場は防波堤の付近のみで、さほど釣果は望めませんが、カレイやチカなどが釣れました。

港には小型の漁船が沖の浮き球や岸壁に係留されており、波は殆どなく穏やかで美しい港です。

山には木々が生い茂り、港に水を供給しているので植物プランクトンも多い?

水辺でごろ石の裏を手でまさぐってみたらアワビがごろごろと手に当たりました。禁獵区です、探ってはいけません。

昔はニシン漁千石場所で名残をとどめる番屋風の古い建物もあります。北大の潮位観測所(左端)もあります。

風景画の写生地としては申し分のない所で時々出かけます。

『近況報告』

6月から7月にかけて半月くらい、再度イギリスの田園を取材してきます。

庭園も旅先に沢山あるので、これらの見学も楽しみです。

編集後記

健生上野さん出演、大林宣彦監督映画「野のななのなか」を観る。

芦別を舞台に老人が亡くなつて49日まで老人の過去を巡る遺族たちの回想……。

私の今は、いつかの誰かの生き直し?

未来の誰かに繋ぐために今をよく生きること。亡き先輩友一さんや家守さんに思いをはせて。

(記 うさP)

【事務所所在地・連絡先】

〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目

市民活動プラザ星園405号室

健康生きがいづくりアドバイザー北海道協議会

(電話・FAX) 011-211-4416

【現在会員数】 5月29日付

○正会員 105名 ○一般会員 10名

合計 115名